

第3学年 総合的な学習の時間 指導案

令和2年9月25日(金)

第5校時 3年教室

研究主題 楽しみに思える未来を創造する児童の育成
～「みらい科」「教科学習」を通して～

1 単元名 「落合地域の すてき を見つけよう」

2 単元の目標

落合のまちの良さや特色について必要な情報を収集・整理・まとめることを通して、自分たちの生活との関わりを考え、地域の一員としての自覚をもてるようにする。

3 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考力・判断力・表現力	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①課題解決のために、インターネットやインタビューなどの中から適切な方法を選んで調べたり、必要な情報を整理・工夫してプレゼンテーションソフトにまとめたりしている。	①落合地域のまちの良さや特色について、学習課題や学習計画を考え表現している。	①落合地域のまちの良さや特色に関心をもち、学習を振り返ったり見直したりして、学習課題を追及・解決しようとしている。
②落合地域には、建物や店、公共施設などがあり、それぞれに良さや特色があることを理解している。	②調べたことをもとに、落合地域のまちの良さや特色と自分たちの生活とを関連付けて考え、良さや特色について自分の考えを適切に表現している。	②落合地域のすてき調べを通して、地域との関わりを深め、地域の一員としての自覚をもとうとしている。

4 単元について

(1) 教材観

本単元は、落合地域（生活圏）にしかないすてきなところについて主体的に調べ、落合地域のよさに気づき、地域の一員として落合地域への思いを深めることをねらいとしている。

本地域は、都営大江戸線落合南長崎駅を最寄り駅とし、駅直結の複合型ショッピングセンターをはじめ、目白通りや新青梅街道、中野通り沿いを中心に、自動車販売店や飲食店がさまざまに立ち並ぶ。鉄道模型の製造・販売を行うホビーセンター、AEDなどの医用電子機器総合メーカー、製紙原料を扱う会社など企業活動も盛んである。そして、妙正寺川を中心とした大規模な公園や緑地が広がり、自性院や葛谷御霊神社といった神社仏閣、縄文時代の遺構が残る目白学園遺跡や野方配水塔（中野区）など、地域の良さや特色として捉えるには十分な地域と言える。これらの地域の特色について改めて考えることをきっかけに、地域の一員としての自覚が高まると考える。

また、初めての「総合的な学習の時間」となる3年生にとって、自分たちの身近な地域を扱うことは、学習課題の設定、探究、整理分析、まとめ、発表という探究プロセスを親しみながら学ぶことができる。そして、この経験が、今後4年間の主体的な学びや問題解決力の素地として役立つと考える。

(2) 児童観

本学級の児童は、1・2年生の生活科の学習において、地域の様々な場所、自然と関わる体験を通して、落合地域への愛着や理解を深めてきた。3年生になり、社会科「学校のまわりの様子」では、生活体験をもとに話し合いをしたり、土地の高低や建物の様子について2回にわたって実地調査を行ったりしながら、地域の情報についておおまかに捉えることができている。しかし、どのようなところであるのかをあいまいに捉えていたり、初めて知ったりする場所も多く、地域の特色について気付いている児童は少ない。

そこで、落合地域のすてきを見つけて、地域をよく知らない人に紹介しようというめあてを立て、探究していく活動を通して、地域資源を見つめ直し、自分たちの住む地域への理解を深め、地域の一員としての自覚をもつ機会としたい。また、学習課題の設定、探究、整理分析、まとめ、発表という総合的な学習の時間の探究プロセスを丁寧に学ばせることで、主体的な学びや問題解決力の素地を身に付けさせたい。

(3) 研究との関わり

目指す児童像 「自ら考え、判断し、行動できる児童」

①課題や解決方法が選択できる。

探究課題を「落合のすてきを見つけよう」と設定し、1・2年生の生活科の学習や社会科の「学校のまわりの様子」を活用しながら課題解決学習ができるようにした。自分との関わりが大きい地域を学習問題とすることで、親しみやすくイメージをもちやすくし、課題設定が自分と社会との関わりを捉えられるようになると考えた。また、家の人に聞いてみたり、お店の人に聞いてみたりすることが比較的容易にできる地域教材であるので、インターネットや図書資料だけでなく、インタビューも活用することで、解決方法に選択肢が増やせると考えた。

②何度も組み換えや修正ができる「プレゼンテーションソフト」の活用。

調べたことをもとにプレゼンテーションソフトを活用してまとめ上げていくことは、「まずは作ってみよう」「あとから写真を入れてみよう」「文字の色や大きさを変えてみたらどうなるだろう」「順番を変えて表現したい」など、自らの思考・判断で加除・訂正ができる利点がある。そのため、新聞や画用紙といった紙面にまとめるよりも容易に編集することが可能であり、試行錯誤をしながら自分の考えや伝えたい思いを、楽しみながら具現化できる。また、シートを振り返ることで、必要な情報は何かに気付いたり、課題への理解度を高めたりできると考えた。

③肯定的・共感的な関わりの醸成

「落合のすてきを見つけよう」と題した発表会を行うことで、自らが工夫を凝らして作り上げたプレゼンテーションソフトを見てもらう機会が生まれ、自身の考えや思いを発揮できる場になると考えた。

また、一人ひとりの課題設定に違いはあるが、自分との関わりが大きい地域を探究課題としているので、「その場所知ってる」「そこに行ったことがある」「近くにそんなところがあるんだ」と発表を共感的に受け止め、発表者に寄り添って聞くことができるのではないかと考えた。その中で、発表者の良さや自他の違いに気付くことで、よりよい人間関係の醸成につなげたい。

5 指導計画（全 15 時間扱い）

	ねらい	○主な学習活動 ・ 内容	□資料 ◇評価
つかむ	社会科の学校のまわりの様子調べや知っていることをもとに、落合地域の特色を整理する。 ①	○調べたことや知っていることをもとに、落合地域の特色について発表し合う。 ・ 妙正寺川があって自然が多い。 ・ 本物の鉄道が置いてあるホビーセンターがある。 ・ お豆腐屋さんのドーナツがおいしい。 ・ 神社のお祭りが面白い。 ○落合地域には様々な特色があることを理解する。	□社会科資料 「学校のまわりの様子」 ◇ア②
	落合地域のよさを探るための学習問題に沿って、課題設定や学習計画をたてる。②	【学習問題】 落合地域のすてきを調べて、発表しよう。 【設定】 落合地域をあまり知らない人や初めて訪れる人に調べたことをプレゼンテーションソフトにまとめて発表する。 ○課題を設定する。 ・ 妙正寺川 ・ ホビーセンター ・ 銭湯 ・ ショッピングセンター ・ 落合西公園 ・ 野方配水塔 ・ 自性院 など ○学習計画をたてる。 【内容】 ・ だれが、いつ、どこで、何を、どのように 【調べ方】 ・ インターネット ・ 図書資料やパンフレット ・ インタビュー ・ 見学	◇イ①
調べる	設定した課題について調べ、落合地域の特色を理解する。 ③④⑤	○設定した課題について調べる。 ○調べた内容を整理しながら理解する。	□新宿区HP など ◇ア① ◇ウ①

まとめる	調べて分かったことをまとめ、表現する。 ⑥⑦⑧⑨⑩ 【本時】	○これまで調べてきたことをもとに、「落合地域のすてき」として工夫しながらプレゼンテーションにまとめる。	◇ア① ◇ウ①
	作ったプレゼンテーションをもとに、発表の準備をする。⑪⑫	○プレゼンテーションをもとに、発表原稿を作って発表の準備をする。	◇ア① ◇ウ①
いかす	落合地域のまちのよさや特色と自分たちの生活とを関連付けて考え、表現する。⑬	○落合地域のまちのよさや特色と自分たちの生活とを関連付けて考え、発表し合う。 ・観光マップを作って、落合地域を知ってもらいたい。 ・歴史のあるお祭りに参加し、ずっと残していきたい。 ・その会社の製品を見つけたら、おうちの人に紹介したい。 ・川が増水した時には、その公園に近づかないようにすると、みんなに教えたい。 ・地域の自慢として、買い物をするときにはそのお店で買いたい。	◇イ② ◇ウ②
	「落合地域のすてき」を発表する。⑭	○落合地域をあまり知らない人や初めて訪れる人に向けて「落合地域のすてき」を発表する。	◇ア②
	学習を振り返る。⑮	○学習の振り返りをする。	◇ア② ◇ウ②

6 本時の指導

(1) 目標

- ・調べた情報を整理してプレゼンテーションソフトに工夫してまとめることができる。

(2) 展開 (9/15)

○主な学習活動 ・予想される児童の反応	☆指導上の留意点 □資料 ◇評価
○本時の学習の見通しをもつ。 ○これまで調べてきたことをもとに、「落合地域のすてき」として工夫しながらプレゼンテーションにまとめる。 ・写真を貼りつけてわかりやすくしよう。 ・文字飾りはどれにしようかな。 ・シートの順番を入れ替えたらどうかな。 ・もう1ページ増やして詳しく説明してみよう。 ○友達と見合いながら、お互いの良さや改善案を伝え合う。 ・短い言葉にまとめられていていいね。 ・写真をもう少し大きくすると見やすくなるよ。 ・この機能を使うと文字が見やすいよ。 ○学習を振り返る。 ポイント 今日できるようになったこと、分かったこと 次に生かせそうなこと、やってみようと思うこと ・背景の色を明るくすると、文字が見やすくなることが分かった。 ・クイズを取り入れると、聞き手に興味をもってもらえそうだから取り入れたい。 ・地図や写真を入れると、言葉を短くできる。 ・もう少し詳しく情報を知りたいので、インタビューに行ってみよう。	☆学習計画表を振り返り、本時で何をするのか見通しをもたせる。 ☆「いつ、どこで、だれが、何を、どのように、どうして」について、伝えたい中心を単語や短い文にして入力するよう声掛けをする。 ☆プレゼンテーションソフトの機能について、説明書を参考にしながら、より相手に伝わるように文字の大きさや字体、色、背景、写真などを工夫させる。 ☆見合うための小グループを設定し、「相手に伝わるように」という視点を意識させながら相手のプレゼンテーションを確認させ、感想を伝えさせる。 □振り返りシート ☆本時の成果と次時への見通し（縦と横の振り返り）を書き表させ、達成感や学習意欲をもたせる。 ◇課題解決のために、インターネットやインタビューなどの中から適切な方法を選んで調べたり、必要な情報を整理してプレゼンテーションソフトに工夫してまとめたりしている。 (知識・技能) ◇落合地域のまちのよさや特色に関心を持ち、学習を振り返ったり見直したりして、学習課題を追及・解決しようとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)